



2021年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年9月10日

上場会社名 神島化学工業株式会社
 コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 小田島 晴夫
 四半期報告書提出予定日 2020年9月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6110-1133

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第1四半期の業績(2020年5月1日～2020年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第1四半期	4,717	11.0	334	109.3	328	126.8	227	141.2
2020年4月期第1四半期	5,303	3.9	160	25.8	144	29.9	94	27.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第1四半期	24.81	24.72
2020年4月期第1四半期	10.30	10.27

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第1四半期	18,380	7,685	41.6
2020年4月期	19,082	7,552	39.4

(参考)自己資本 2021年4月期第1四半期 7,649百万円 2020年4月期 7,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期		10.00		10.00	20.00
2021年4月期					
2021年4月期(予想)		10.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年4月期の期末配当については、現時点では未定としております。配当予想額の開示が可能となった段階で速やかに公表することを予定としております。

3. 2021年4月期の業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)通期	9,200	13.8	500	0.0	520	9.6	360	2.9	39.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当期の業績予想の詳細については本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。また、通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業績予想の合理的な算定が困難であることから、現時点では未定としております。今後の事業への影響を慎重に見極め、合理的な算定が可能となった時点において速やかに公表することを予定としております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期1Q	9,240,000 株	2020年4月期	9,240,000 株
期末自己株式数	2021年4月期1Q	75,547 株	2020年4月期	75,539 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期1Q	9,164,457 株	2020年4月期1Q	9,153,598 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済・社会活動が大幅に制限され、極めて厳しい状況となりました。当社建材事業の主要マーケットである住宅市場は、新設住宅着工戸数が持家・貸家ともに減少し、全体でもマイナスとなりました。

このような状況の中、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は4,717百万円と前年同四半期比585百万円(11.0%)の減収となりました。営業利益は334百万円と前年同四半期比174百万円(109.3%)の増益、経常利益は328百万円と同183百万円(126.8%)の増益、四半期純利益は227百万円と同133百万円(141.2%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 建材事業

建材事業におきましては、耐火パネルや高付加価値商品の高級軒天ボードの拡販はあったものの、新設着工戸数の低迷に伴い業界全体の販売量が減少したことや採算性重視の施策により一部製品の販売が減少したことなどから、売上高は2,970百万円と前年同四半期比429百万円(12.6%)の減収となりました。しかし、セグメント利益(営業利益)は減収に伴う減益はあったものの、修繕費など固定費負担の減少や高付加価値商品の拡販などにより98百万円と同52百万円(114.9%)の増益となりました。

② 化成品事業

化成品事業におきましては、セラミックス部門の拡販はあったものの、一部マグネシウム製品が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、受注が減少したことなどから、売上高は1,746百万円と前年同四半期比156百万円(8.2%)の減収となりました。しかし、セグメント利益(営業利益)は、修繕費・償却費など固定費負担の減少、高利益率のマグネシウム製品やセラミックス製品の拡販などにより359百万円と同108百万円(43.0%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は18,380百万円となり、前事業年度末(以下前年度)に比べ701百万円減少いたしました。このうち、流動資産は9,049百万円と前年度に比べ468百万円減少いたしました。主な減少要因は、受取手形及び売掛金が264百万円、電子記録債権が147百万円、商品及び製品が91百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は9,331百万円と前年度に比べ233百万円減少いたしました。主な減少要因は、有形固定資産が138百万円、繰延税金資産が63百万円減少したことによるものであります。

流動負債は7,414百万円と前年度に比べ674百万円減少いたしました。主な増減要因は、電子記録債務が216百万円、1年内返済予定の長期借入金が211百万円、賞与引当金が156百万円、未払法人税等が142百万円減少したことによるものであります。

固定負債は3,280百万円と前年度に比べ160百万円減少いたしました。主な減少要因は、長期借入金140百万円減少したことによるものであります。

純資産は7,685百万円と前年度に比べ133百万円増加いたしました。主な増加要因は、利益剰余金が135百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期第2四半期(累計)の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業績予想の合理的な算定が困難な部分がありますが、現時点で入手可能な前提条件に基づき算定いたしました。

なお、通期の業績予想につきましては、第3四半期以降の合理的な算定が困難であることから、未定としております。今後の業績への影響を慎重に見極め、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表することを予定としております。

詳細については、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440	1,482
受取手形及び売掛金	3,363	3,098
電子記録債権	780	633
商品及び製品	2,052	1,961
仕掛品	704	718
原材料及び貯蔵品	879	857
その他	297	299
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,518	9,049
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,110	3,066
機械及び装置（純額）	3,078	2,944
土地	1,381	1,381
その他（純額）	635	675
有形固定資産合計	8,205	8,067
無形固定資産	33	30
投資その他の資産		
投資有価証券	259	253
繰延税金資産	729	666
その他	337	314
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,325	1,234
固定資産合計	9,564	9,331
資産合計	19,082	18,380

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,426	1,331
電子記録債務	1,092	875
短期借入金	3,000	3,200
1年内返済予定の長期借入金	707	496
未払法人税等	190	48
賞与引当金	286	129
製品保証引当金	105	103
設備関係支払手形	11	0
設備関係電子記録債務	125	145
その他	1,144	1,084
流動負債合計	8,089	7,414
固定負債		
長期借入金	1,399	1,258
退職給付引当金	1,819	1,813
その他	223	209
固定負債合計	3,441	3,280
負債合計	11,530	10,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,085	1,085
利益剰余金	5,138	5,273
自己株式	△27	△27
株主資本合計	7,516	7,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	△2
評価・換算差額等合計	2	△2
新株予約権	32	35
純資産合計	7,552	7,685
負債純資産合計	19,082	18,380

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年5月1日 至2020年7月31日)
売上高	5,303	4,717
売上原価	3,933	3,328
売上総利益	1,369	1,389
販売費及び一般管理費	1,209	1,054
営業利益	160	334
営業外収益		
受取配当金	9	6
雇用調整助成金	—	3
その他	6	5
営業外収益合計	16	14
営業外費用		
支払利息	14	11
売上割引	6	6
その他	10	3
営業外費用合計	31	21
経常利益	144	328
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	144	327
法人税、住民税及び事業税	2	36
法人税等調整額	47	63
法人税等合計	50	100
四半期純利益	94	227

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,400	1,903	5,303	—	5,303
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,400	1,903	5,303	—	5,303
セグメント利益	45	251	297	△137	160

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△137百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△137百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2020年5月1日 至 2020年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,970	1,746	4,717	—	4,717
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,970	1,746	4,717	—	4,717
セグメント利益	98	359	457	△123	334

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△123百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△123百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

前事業年度末の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。